

東小学校 CS 会報 コミュスクだより



Vol.7

2024.2.XX 発行



←富良野東小学校 CS のフェイスブックページです。
CS 活動や学校の取り組み状況をお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。「いいね」「フォロー」をよろしくお願いします。

発行責任者

東小 CS 会長

石田 英俊

eMail: furano.higashisyo.cs@gmail.com

特別授業(総合的な学習の時間)

特別講師：パラ競泳宮崎哲選手

1月30日、6年生は総合的な学習の時間で将来の夢や仕事について考える時間を設けて、特別講師として競泳パラリンピアン宮崎哲選手をお招きして特別授業を本年も受けることができました。富良野を拠点にトレーニングを重ねておられましたが、最近は諸事情があって札幌で練習することが多いという宮崎選手。これまでのご縁がありまして、東っ子のためにお願いしたところ今回も快く講師を引き受けてくださいました。夢を持ち続けること、継続して努力すること、そしてそれを支える仲間や家族、友だちがいることが大切であること。周りの理解があり支え合えることで、たくさんの可能性を引き出すことができたこと。たとえ障がい者だとしても、やれることがたくさんあって後ろを向くことなく、前へ、前へ！！自分で出来ることを探して、挑戦して継続することを教えていただきました。子供達の心に響く良い授業だったと思います。支え合う気持ち支え合える関係性とか地域づくりはまさにコミュニティスクールに必要な不可欠な根幹の部分です。我々大人ももっともっと学ばねばなりません。

今回の宮崎選手の授業の他に、色々な職業からゲストティーチャーを招いてお話を聞く予定となっています。こちらは次号に掲載します。



東小 CS 研修会開催

子ども一人ひとりを理解するために大切なこと

昨年11月29日、富良野市教育委員会の臨床心理士である上笠舞子先生を講師にお招きし、最近の子どもたちをとりまく状況について、架空の事例を元に「自分たちに何ができるのか」を話し合いました。子どもたちは、学校のこと、家庭のこと、友達との関係など、さまざまな悩みを抱えています。我々、地域の人は、子どもたちを暖かく見守り、声をかけ、手を差し伸べることでできる心の準備が必要だと感じました。

冬休み学習サポート「東っ子わくわくタイム」

地元の高校生による学習サポート

昨年12月28日・本年1月10日、学習サポート事業、「東っ子わくわくタイム」を実施しました。富良野高校と緑峰高校の生徒さんからボランティアを募り、たくさんの高校生が参加してくれました。

参加した東っ子達は各々持参した宿題などに取り組んで、高校生達がそこをフォローしてあげるスタイルでした。序盤は話しかけられず立っただけの高校生もいましたが、次第に溶け込み和やかな雰囲気での学習が進行して行きました。

途中休み時間を設け、みんなで紙ブーメランを作って飛ばして遊びました。初めてブーメランを作ったという子がとても多く、こういった昔ながらの遊びに触れるイイ時間でした。

後半の学習は、休み時間を挟んだ効果なのか、東っ子と高校生との距離も縮まり学習への集中力が増した印象を受けました。

小学生は、比較的歳の近い高校生のお兄さんお姉さんから勉強を教えてもらうことで、教員による普通の授業とは異なった学習効果が期待できます。小学生は高校生へ信頼や憧れを抱き、高校生は小学生への学習サポートを通じて接することで、相手に理解してもらえるよう考える機会を得て、創造力や人間力を磨くことができたのではないのでしょうか。



CS 研修会グループ討論の様子



学習サポート・ブーメラン作りの様子

お詫びいたします

私の個人的な部分ですが、仕事や家庭のイベントが多くなり、会報作成に時間を割く余裕がなかなか作り出すことができず、しばらくの間、CS 会報を発行していませんでしたことをお詫びいたします。

会報によりお知らせすることが滞っておりましたが、CS 活動は活発に継続されており、様々な学校行事と連携協働しているところです。これもひとえに地域の皆様のご理解とご協力あってのことです。心より感謝申し上げますとともに、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

CS 会長 石田 英俊